



ふくおか [Good] 農業人100

主な農産物／春夏作：ナス、オクラ他 秋冬作：春菊、コマツナ他

仲家 賢二郎さん (31歳) (営農地／田川郡赤村)

農業で築く地域との信頼関係

《就農のきっかけ》

農業の魅力に惹かれて

幼い頃から一次産業の大切さを常に意識していた仲家さん。高校卒業後は地元の宗像を離れ、京都大学の農学部に進学し、課外活動も農業サークルに所属していました。農学部の授業やサークル活動を通じて、農業の産業としての重要性を改めて認識すると共に、経営主として仕事を行える農業のもう一つの側面に更に強く惹かれていました。同級生が一般企業に進路を定める中、自身の進路に対して迷いを感じていたところ、ソーシャルネットワークで赤村の大規模農家で従業員を募集していることを知り、思い切って大学を辞め、農業の世界に飛び込みました。

《これまでの過程》

地域の信頼を得ることの大切さ

大規模農家で約3年間勤務した後、仲家さんは30aの農地を借り、念願の独立を果たしました。就農当初の苦勞を、「大規模農家で3年間農業に携わっていたので農業に対する知識や技術はある程度持っていたつもりですけど、実際にはまだまだ未熟で栽培面で苦勞しましたし、独立当初は条件の良い農地を借りられずかなり苦勞しました。売り上げがなかなか上がらずモチベーションの維持が大変でした。」と仲家さんは語ります。

独立2年目からは、地域で行われている就農支援講座の講師を引き受け収入の安定を図りました。自身の営農と講師という2足のわらじで頑張りながら、赤村で農業を続け、地域の農家の方々と交流を持ち続けました。地道に農業を頑張り続ける仲家さんを見て地元の生産者の方々も信頼するようになり、次第に土地を貸しても良いと声をかけてくれる方が増えていったそうです。現在の経営規模は80aまで拡大し、今年の冬からはガラスハウスを15a借りられることになり、何とか経営を安定できる見通しが立ってきたとのことでした。



プロフィール

- 家族構成／本人
- 営農年数／約5年(独立してから2年)
- 耕作(経営)面積／0.8ha
- 販路／地元農家主体の販売ネットワーク、直売所

《これからの展望》

地道に頑張り安定した経営を行う

「ようやく経営の見通しが開けてきたので、地道に農業を続けて経営を安定させたいです。一人で経営できる規模で農業を続けていきたいので、今のところは経営規模の拡大は考えていません。ひとまずは、今年の冬から借りられる事になったガラスハウスをフル活用して自分らしい農業のやり方を確立したいですね。」と仲家さんは自身のこれからについて語ってくれました。また、「就農支援講座の講師をやらせてもらっていますので生徒の皆さんがしっかりと技術を習得し、ゆくゆくは地域の担い手として共に頑張っていけたら良いなって思っています。」と夢を語ってくれました。



Good 成功のためのポイント

農業は人付き合いをあまりしなくても良いイメージされる方がいるかもしれませんが、実際に、私も就農前は農業にそのようなイメージを持っていました。しかし、農業も他の産業と同じく人付き合いは非常に重要です。私自身、地域の農家の皆さんに栽培方法を教えてもらったり、土地を貸していただいているように、多くの方に助けられてこれまで農業を続けてきました。地元の方とのコミュニケーションはこれからも大切にしていきたいと思っています。